

囲碁入門講座通信 令和3年 第36号



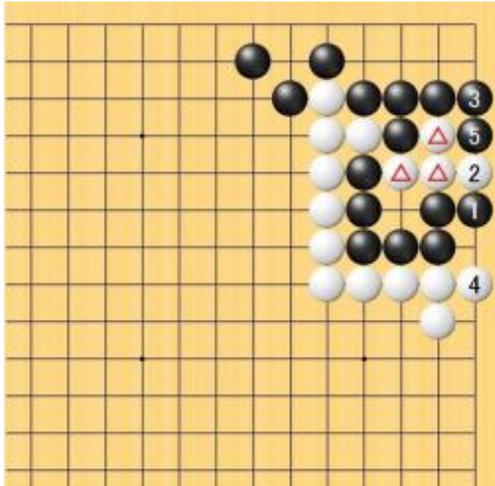
報告:有楽斎

毎月第二日曜日の午後1時半から午後4時ごろまで、朝日2丁目集会所で「囲碁入門講座」に、それなりに一所懸命取り組んでいるのですが、新型コロナウイルス感染を防ぐために、「三つの密」密閉・密集・密接を避けがたく、まことに口惜しところですが、**現在休局中**です。
(棋士名は椿に因んだ名をニックネームとして表記しています)

今号は入門者用にやさしい攻め合い問題をご案内したいと思います。(監修:太神楽(だいかくら)師匠)
ダメの数では負けでも、手筋の力で石を取る 単純にダメを詰めていくのでは、自分の石が先に取られてしまうような場面で、手筋の力を借りて攻め合いに勝つ手順を考えていただきます。①相手の手数を縮める手筋と②自分の手数を伸ばす手筋の力を借りて・・・

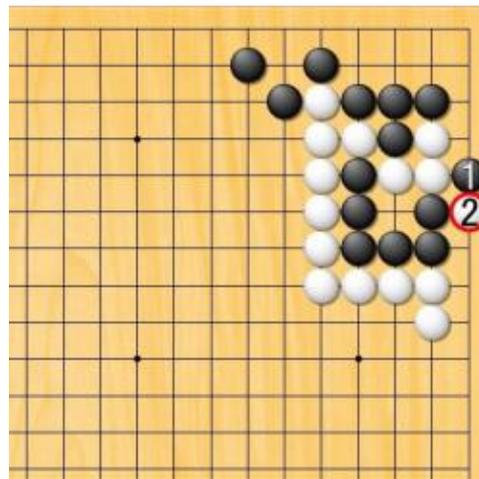
前号(第35号)の続きです **問題2 正解と解説**

問題2 正解図



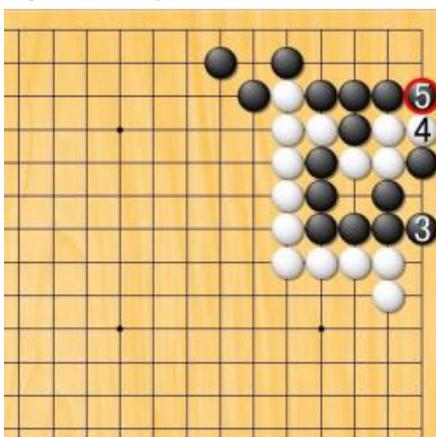
黒1のサガリが手筋になります。黒のワタリを防いで白2ですが、あとは順番に詰め合って黒5まで、1手勝ちです。

問題2 失敗図1



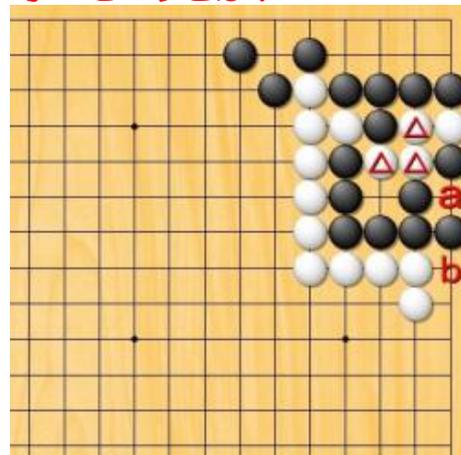
黒1とハネると、すかさず白2と打つのがこれまたよくある手筋です。黒は2の石を取るしかありませんが、次いで・・・

問題2 失敗図2



黒3と一子を抜き、黒5まで。これは**一手ヨセコウ**という状態で、失敗です。

一手ヨセコウとは?



白がaとコウを取り、次に黒のコウ立てにかまわず白bと打つと、本コウになります。